


CASBEE新潟 | 評価結果



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)

1. 建物概要

建物名称	(仮称)テックランド新潟小新店	
建設地	西区 小小白鳥582番1外	
用途地域	第2種住居地域	
建物用途	物販店舗、駐車場	
竣工年	2013年6月 予定	
敷地面積	3,947.82 m ²	
建築面積	2,491.85 m ²	
延床面積	7,021.34 m ²	
階数	地上3F	
構造	S造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2012年11月30日	

2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{52}{35} = 1.4$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	平均スコア 3.2		バリアフリー	Q2.1.1.3	3.0
			維持管理	Q2.1.3	3.5
			更新性	Q2.3.3	3.1
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	平均スコア 2.9		耐震・免震	Q2.2.1	3.0
			信頼性	Q2.2.4	2.8
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	平均スコア 2.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	2.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	平均スコア 3.0		建物の熱負荷抑制	LR1.1	3.0
			自然エネルギー利用	LR1.2	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	平均スコア 3.7		節水	LR2.1.1	4.0
			リサイクル材の使用	LR2.2.4	4.0
			再利用可能性向上	LR2.2.6	3.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	平均スコア 2.5		生物環境の保全・創出	Q3.1	1.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	4.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	平均スコア 3.0		まちなみ・景観への配慮	Q3.2	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	3.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

新潟市の重点項目に関する配慮事項を記載してください。
 バリアフリーであること、日常の手入れがしやすいことを重点に置き、また、大雨対策を考え、1階をピロティ駐車場とし、売り場を2.3階に設けた。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

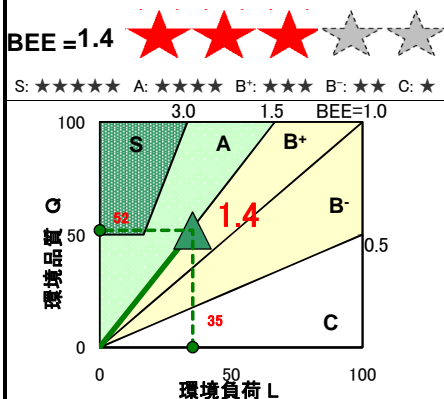
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

CASBEE[®]新潟

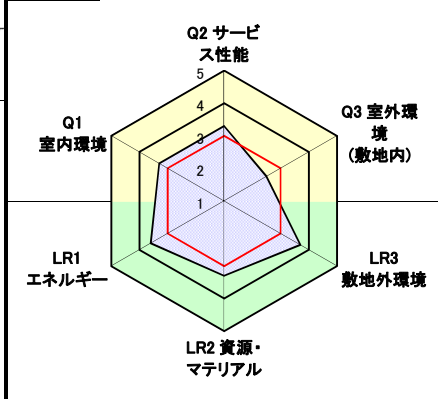
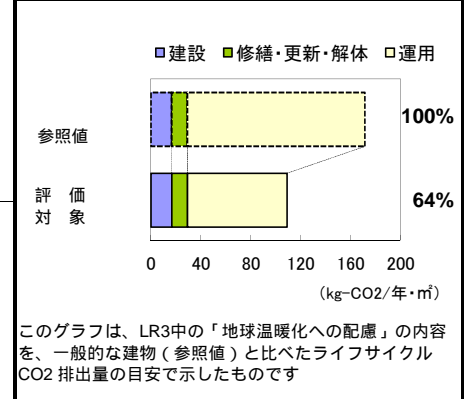
評価結果内訳

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)

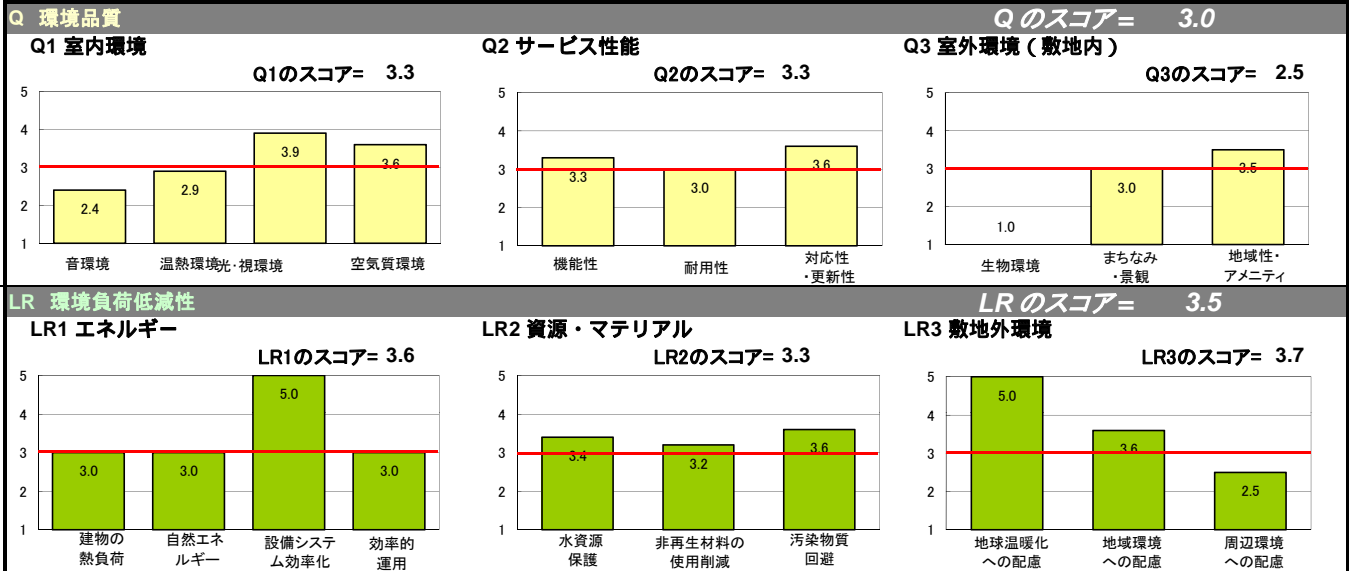
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)



2-5 設計上の配慮事項

総合		その他
地域のラウンドマークの建築物とし、近隣景観に調和するデザインの建物形状、色彩に配慮する。		注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
快適な売り場環境確保する為、音環境、室温、照明、換気に配慮した。	来店するすべての人が快適に過ごせるよう、パリアフリー、天井の高さ等の空間環境に配慮した。	1Fをピロティーとし建物の圧迫、風の通りぬけ、および建物の色彩を白系の単一色とし、良好な景観の形成に配慮した
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
断熱材、等の使用により熱効率に配慮した	再生骨材の使用、省水型設備機器の使用に配慮した	日影規制に対し1ランク上の基準を満たしました、十分な駐車、駐輪施設を配置し地域環境に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される